

※円で囲んだ香川県海域を警戒発令海域とする

6 月 7 日にプランクトン調査(燧灘)を行いましたので、その結果をお知らせします。

【概況】

- ・魚毒性を示す有害プランクトンであるシャットネラ属(アンティカ、マリーナ)の出現が確認されました。最高細胞密度(2 種合計値)は 40 細胞/mL(定点 KA24)で、燧灘を中心に広く分布しています。
- ・その他、シャットネラ・グロボーサの増殖が広範囲で見られます(最高細胞密度 484 細胞/mL; 定点 KA15)。
- ・貝毒の原因となる有毒プランクトンは確認されませんでした。
- ・小型珪藻類は低密度でした。
- ・燧灘沖合の表層水温は約 19~21℃、溶存酸素(DO)は約 5~8 mg/L(表層~底層まで)で推移しています。

表：2021 年 6 月 7 日有害・有毒プランクトン調査結果 (海水 1 ミリリットルあたりの細胞数)

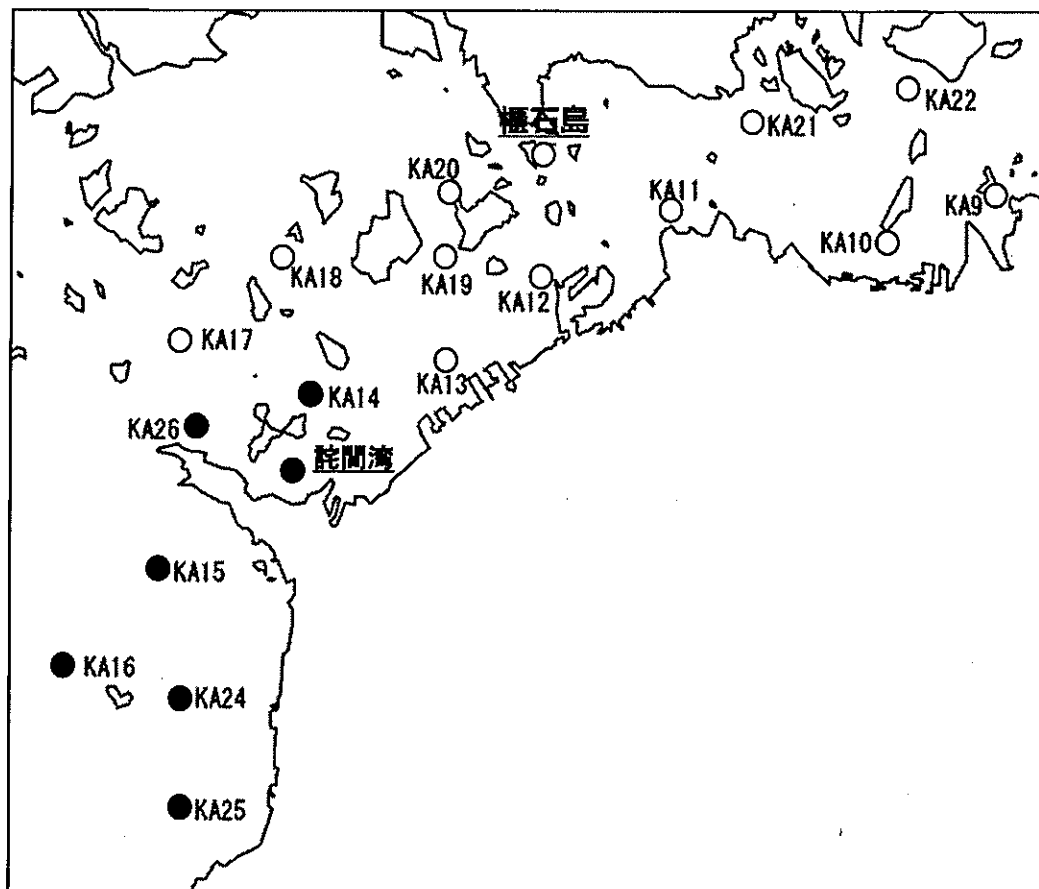
調査地点	水深 (m)	シャットネラ・アンティカ	シャットネラ・マリーナ	シャットネラ・オバータ	カレニア・ミキモトイ	コクロディニウム・ポリクリコイデス	シャットネラ・グロボーサ	旧アレキサンドリウム・カテネラ
KA14	0	0	4	0	0	0	2	0
	10	0	4	0	0	0	7	0
KA15	0	3	12	0	0	0	243	0
	10	9	31	0	0	0	484	0
KA16	0	4	9	0	0	0	78	0
	10	0	10	0	0	0	264	0
KA24	0	15	25	0	0	0	100	0
	10	8	21	0	0	0	250	0
KA25	0	7	20	0	0	0	195	0
	10	2	17	0	0	0	357	0
KA26	0	0	3	0	0	0	18	0
	10	2	12	0	0	0	16	0
詫間湾	0	2	16	0	0	0	25	0
	10	2	17	0	0	0	20	0

【有害・有毒プランクトンに関するお問い合わせ】

香川県農政水産部 赤潮研究所(担当:小川・松下) 電話 087-843-6511

香川県農政水産部 水産課漁業振興・流通グループ(担当:和田) 電話 087-832-3471

【参考】調査定点（備前瀬戸・燧灘）



\* 赤潮定期調査（燧灘）は合計7定点（KA14、15、16、24～26、詫間湾）で行っています。

【参考】香川県の有害・有毒プランクトンの基準密度

種名	注意基準	警戒基準
シャットネラ・アンティカ	1細胞/mL (3種の合計値)	10細胞/mL (3種の合計値)
シャットネラ・マリーナ		
シャットネラ・オパータ		
カレニア・ミキモトイ	10細胞/mL	500細胞/mL
コクロディニウム・ポリクリコイデス	100細胞/mL	1000細胞/mL
旧アレキサンドリウム・タマレンセ	-	5細胞/mL
旧アレキサンドリウム・カテネラ	-	50細胞/mL